

## 新潟工科大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 令和4年度実施分 自己点検・自己評価結果

### 1. 授業データ

科目名：IoTとAIの基礎	科目番号：02130	担当者氏名：堀雅和
履修登録者数(A)：89名	成績評価対象者数(B)：89名	単位修得者数(C)：72名
比率(C/A)：80.9%	比率(C/B)：80.9%	平均点：65.5点

### 2. 成績分布を踏まえた到達目標の達成状況について

成績分布、レポートの記載内容等から判断し、本授業を履修した学生には概ね、IoTとAIに関する基本的な知識を伝えることができている、到達目標を概ね達成できている。

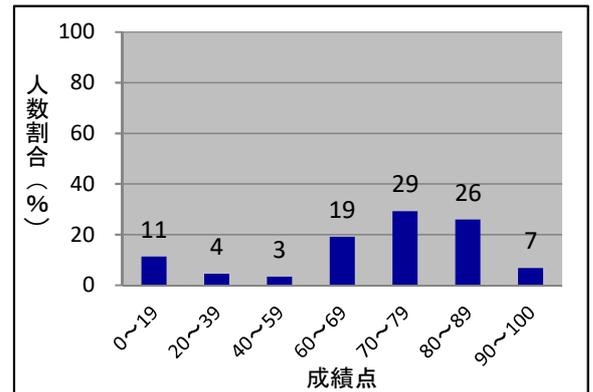


図1. 成績分布

### 3. 学生による授業評価アンケート結果について

クイズ等、ただ聞くだけではなく、受講者が授業に能動的に参加できる、いわゆるアクティブ・ラーニングを取り入れることの重要性を改めて認識することができる。また、当該授業に関連する学修時間が増えるよう、授業において予習が必要となる部分を作る必要があると思われる。

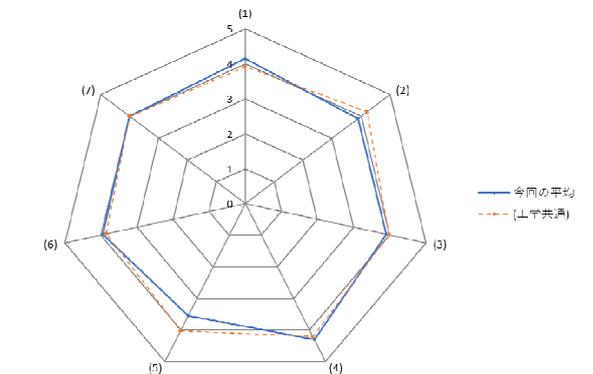


図2. 授業評価アンケート結果

### 4. 教育効果向上へ向けた取り組みについて

- ①レポート課題において、実際のシステムを用いて評価させるようにし、技術に関する具体的なイメージを持つことができるよう工夫している。
- ②授業中にMoodleを使ったクイズを出題し、選択問題だけではなくアイデアを問う記述問題も出すよう工夫しており、面白い発想の解答を得られるなど、工夫の成果が見られる。

### 5. 今後の授業改善のための課題や方策について

現在の取り組みをより良くしていくため、次の方策を講じる。

- ①課題対象とするシステムの対象を広げ、並びにそのシステムを用いたより教育的な問いかけを行う。
- ②学生のアイデアをフィードバックし、より深く考察するような取り組みを企画実行する。